

## 三菱電機ロジスティクス労働組合 第54回定期大会

8月26日（土）、横浜市にあるMELONDI Aあざみ野にて第54回定期大会を開催しました。

2年間の活動の中間年度の大会として、前回大会で可決・承認された運動方針の補強を図るとともに、一年間の活動を踏まえて新たな提案を行いました。

議案については、全ての議案が可決承認されました。

### <委員長挨拶>



来期は2年間で1サイクルとする活動の2年目にあたる。昨年の定期大会で確認された運動方針を基本に方針の補強を中心として提起しており、代議員のみなさまの真摯な論議でより充実した方針としていただきたい。

2017年春季交渉について、賃金は目標を確保することができた。この結果については、職場組合員のモチベーションの向上に繋がるものであり、会社の決断に感謝の意を表すものである。一時金は前年度から減少となったが、減少の幅についてはぎりぎりの範囲に留められたものと考えている。改めて支部・分会・職場のみなさまの交渉への支援に対して感謝を申し上げる。

さて、運輸業界における長時間労働是正は、業界全体、業界に関わる全ての労働者、業界のひとつひとつの全ての職場で取り組んでいかなければいけない課題である。政府は働き方改革を打ち出し、残業を年間最大720時間とすることを決定したが、トラックドライバーはその改革から外され年間960時間ということにされている。現在、運輸労連とともに時間外労働の上限規制についてドライバーへの適用を求める署名活動を展開しており、当労組組合員は物流・運輸業界に携わるひとりとして積極的に署名活動を行なっていただくよう強く要請する。

最後になるが、この1年間職場にあまり足を運べなかったと感じている。本部は積極的に職場に足を運ぶべきと考えている。まずは顔合わせ、心合わせ、力合わせという原点を見つめ直し、みなさんと一緒に元気で快活に組合活動を進めていきたい。

以上

### <大会構成>

代議員定数 31名

本部役員 6名